



色や形で自分の思いを表現！ コミュニケーションを楽しむ



乳児期から、言葉は繰り返し子どもたちの中に育まれています。聞く・真似る・覚える・知る・話すなど、言葉を発するまでには、周りの人の働き掛けや、興味関心の持てる環境など、たくさんの要素が積み重なっていることも大切です。

保育園では、保育者の働き掛けに加えて歌や絵本などを取り入れ、想像の世界や叙情的な世界を豊かに楽しみながら言葉の習得も大事にしています。

様々な経験を通して、豊かな感性・ 創造性の芽生えを培う

生活の中で出会う美しいもの・不思議なもの・驚きや発見…。それは心を動かし、心情を豊かにしながら、子どもの心の成長の基盤となります。



表現することの
楽しさを知る

こびとさんの手仕事

織機を使い、こつこつと作り上げていく手仕事。作品はバッグ・帽子など身の回りで見られるものとなり、愛着が湧いてきます。

こびとさんの音楽会

専任講師による生演奏です。音楽で表現する楽しさ・美しさ・感動を分かち合います。

クラブ活動

はっぱクラブ・クレヨンクラブ・トライクラブでは、自然体験、絵画、運動などを通して、表現力、探求心、満足感を味わい、活動意欲へと繋がります。



子どもが
自由に表現できる
環境設定

豊かな人間関係や体験が言葉を生む

言葉の獲得には、乳児期の身近な環境や様々な体験、愛情あふれた大人からの言葉掛けやほほえみなどが大切です。

特に大人との会話ややりとりは重要で、様々な気付きや感情が豊かに積み重ねられて言葉と結びついていきます。相手に共感や同調・共有してもらうことで、安心して自分の想いを言葉で表現できるようになります。

園では、家庭的な雰囲気の中で様々な体験を通しての言葉や子どもの気持ちに寄り添ったやりとりを心掛け、言葉を育めるように働き掛けています。

- 日常のあいさつ・返事ができるように
- 人の話をよく聞けるように
- 自分の気持ちを素直に伝え、相手に分かるように話す

物語やメロディが想像力と言葉を豊かにする

年間を通して絵本の読み聞かせを行っています。各年齢に合わせた絵本を選び、物語の世界や言葉のおもしろさを楽しめるようにしています。

歌も、四季に合わせたものを楽しみます。特に、昔の童謡には歌詞から情景が浮かぶものが多いので、想像しながら歌うことでの言葉の習得も意識しながら、その季節に合ったものを提供しています。



楽しみながら
美しい言葉に
触れる

column

私たちの周りには色が満ちあふれています

様々に変わる空の色(日の出の橙色・晴れた空色・曇りの灰色・夕暮れの桃色や紫色・そして夜の群青色)。季節によって変わる自然の色(春の新緑の色・夏の深い緑色・秋は紅葉の色・冬は積もった雪の美しい白色)。幼い子どもたちは、色に出会い、それを目で追いかけて、感じる力へ繋げています。見たものはその時の記憶と共に心に刻まれていきます。また、さらには、ふわふわ・ザラザラ・ツルツルなどの質感やその物・その時の匂いまでも心に刻み込み、無機質では体験し得ないこれらの経験を通して、豊かに生きるための元気を育てているのです。